

事業番号	09 03 10	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	発生予察事業			担当課	部局	農政部	
					課・室	農業技術課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H16 ~	

1 事業の概要

目指す姿	農作物の生産確保と品質向上を図るため、病害虫の発生状況を的確に前もって推察(予察)することにより、予察情報に基づいた効率的かつ効果的な病害虫防除の推進を目指す。 また、本県の農業生産上、課題となっている病害虫の防除に必要な農薬について、その効果等の試験を積極的に行い、登録拡大を目指す。					
現状(予算編成時)	○近年、地球温暖化等の影響により、病害虫の発生時期や発生回数等が変化しており、従来の防除時期では適期防除ができない場合もあることから、予察情報に基づく防除が重要となっている。 ○これまで確認されなかった新たな病害虫の確認や発生が少なかった病害虫が多発生する中、新たな農薬の登録に対する要望が増加している。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 発生予察事業は、植物防疫法に基づき都道府県が実施することとされている。(植物防疫法)農薬登録拡大をするためには、「農薬の登録申請に係る試験成績について」の運用に基づき、都道府県の農業試験場等公的な機関が行った試験成績の提出が必要である。(「農薬の登録申請に係る試験成績について」の運用通知)				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27) ○予察巡回調査ほ場の設置数 212ヶ所(設定理由:病害虫の定量的な観察を行い、広範囲に発生実体を把握するため。) ○巡回調査等に基づく予察情報の発表 年6回(設定理由:定期的な情報発信により、産地での適正防除の実施を図る)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27		H28
				(当初)	(決算)	(当初)
	病害虫発生予察の推進	直接	病害虫発生予察ほ場等の設置及び調査(43ヶ所)	5,721	5,090	5,461
	植物防疫総合情報ネットワークへの加入	直接	日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システム(JPP-NET)への加入	393	389	389
	発生予察技術の確立及び実証	直接	病害虫の発生予察方法(手法)等の確立 イネいもち病の発生予測	232	232	232
	病害虫防除員の設置	直接	「病害虫防除所の設置及び病害虫防除員の設置区域に関する条例」に基づき、市町村区域内で防除指導	386	395	386
	ミバエ等侵入警戒調査	直接	チチュウカイバエ、コリンガ、火傷病、すいか果実汚斑細菌病の侵入警戒調査(調査ヶ所数:62ヶ所)	253	253	253
	農薬登録拡大推進事業補助金((一社)長野県植物防疫協会)	補助	本県が重点的に実施する農薬登録に係る試験の調整業務を行う県植物防疫協会に対し補助	1,800	1,800	1,800
			合計	8,785	8,159	8,521

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		当初予算	8,761	8,695	8,785	8,521			目標	成果	達成状況	
		補正予算					予察巡回調査ほ場の設置	213ヶ所	212ヶ所	214ヶ所	達成	214ヶ所
		合計(A)	8,761	8,695	8,785	8,521			予察情報の発表	6回/年	6回/年	6回/年
	Aの財源	一般財源	3,492	3,321	3,346	3,082						
		県債										
		国庫支出金	5,269	5,374	5,439	5,439						
		その他	0	0	0	0						
	決算額(B)	8,761	8,583	8,159								
概算人件費	職員数(人)	8.00	8.00	8.00	8.00							
	概算人件費(C)	66,064	66,064	66,208	66,208							
概算事業費(B(A)+C)	74,825	74,647	74,367	74,729								

目標に対する成果の状況	目標を上回る調査ほ場を設置することができ、定期的巡回調査で得た結果をもとに、地域の情報を反映した予察情報を計画通り発表することで、指導機関等と連携した病害虫の防除指導が実施された。このことにより、病害虫の発生を抑え、農作物の安定生産に貢献できた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 定点の調査ほ場を適期に巡回調査することで、より精度の高い情報を発信し、生産現場におけるリスク管理に努める。
--------------------	--